

気を付けて!

二酸化炭素消火設備の 誤作動・誤放出

令和2年12月に名古屋市中区、令和3年1月に東京都港区、
令和3年4月に東京都新宿区で、消火設備の消火剤（二酸化炭素）が
放出されたことにより、人命が失われる事故が発生しました。
皆さまの建物で同様の事故を起こさないよう、次の事項に注意してください。

1 工事・メンテナンス時

二酸化炭素消火設備又はその付近で工事やメンテナンスを行う場合には

- 誤作動や誤放出を防ぐため、二酸化炭素消火設備を熟知した第三類の消防設備士や二酸化炭素消火設備を熟知した第一種の消防設備点検資格者に立ち合わせ監督させるなど、作業時の安全を確保する。
- 工事従業者に対して消火剤が放出されないよう閉止弁を閉止する等の措置をするなど安全対策の徹底をする。
- 関係者以外の人が立ち入らないように管理を徹底する。

2 建物利用者等への周知

防火管理者や自衛消防隊長は、二酸化炭素消火設備が設置された場所の利用者等に対して、二酸化炭素の人体に対する危険性、設備の適正な取扱い方法、作動の際の通報、避難方法等について周知する。

3 消火設備作動時の対応

二酸化炭素消火設備の消火剤が放出された場合には、速やかに退避し、近づかない。
すぐに119番通報をして、放出場所等に立ち入らない。
到着した消防隊に消火剤が放出されたことを伝える。

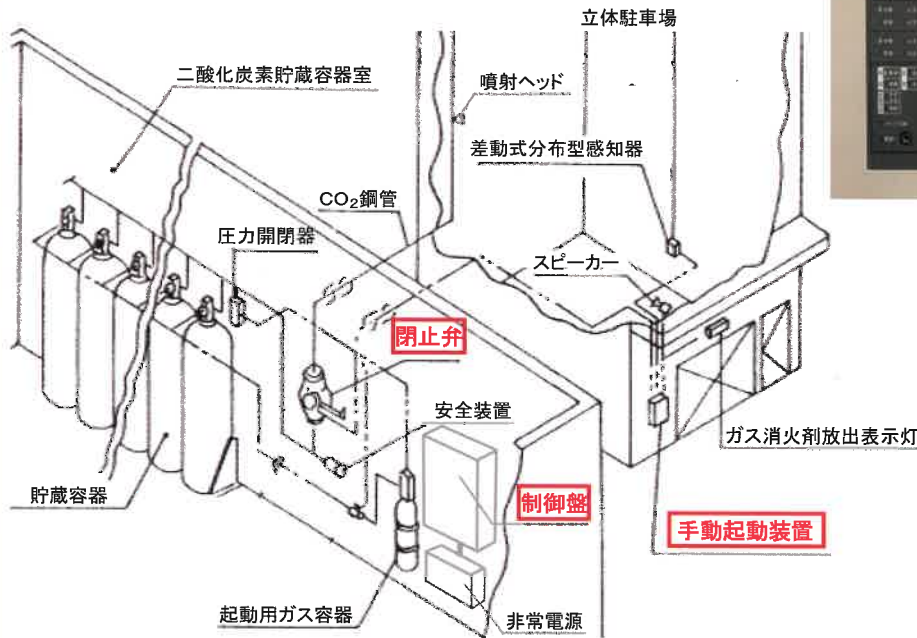
二酸化炭素の人体への影響は

消火に必要な濃度の二酸化炭素を防護区画内に放出した場合に、二酸化炭素が有する人体に対する毒性により、次のような**生命に危険**を与えることがあります。

- 消火に用いる濃度(概ね 35%)では、ほとんど即時に意識喪失に至る。
- 高濃度(55%以上)の二酸化炭素が存在すると、酸素欠乏症とあいまって、短時間で生命が危険になる。

保守点検作業前にすること！

自動手動切替えスイッチを「**手動**」にしてください。
ボンベ庫内の閉止弁を「**閉**」にしてください。



制御盤

手動起動装置



切替えスイッチを「手動」にする



閉止弁を「閉」にする

誤って手動起動したときは



停止ボタン

起動ボタン

手動起動装置

手動起動装置の蓋を開け、誤って起動ボタンを押すと、警報が流れ遅延時間(20秒以上)経過後に消火剤が放出されます。

放出されるまでの間は手動起動装置の中にある「**停止スイッチ**」を押すことで消火剤の放出を停止できます。

起動ボタンを押したときは、必ず点検業者に確認を依頼してください。

お問い合わせ先 衣浦東部広域連合消防局



● 予 防 課 予防係 ☎ 63-0136
● 碧南消防署 予防係 ☎ 41-2623
● 刈谷消防署 予防係 ☎ 23-1639

● 安城消防署 予防係 ☎ 75-2458
● 知立消防署 予防係 ☎ 81-4142
● 高浜消防署 予防係 ☎ 52-1191

